

インストールガイド



Contents

Chapter 1. 概要.....	1	Chapter 10. 特記事項.....	29
インフォメーション・センター.....	1	商標.....	30
Chapter 2. インストール予定Z&I Windows 用エミュレータ.....	2	Index.....	31
インストール前の考慮事項.....	2		
ディスク・スペース所要量.....	2		
移行に関する考慮事項.....	2		
マルチブート環境インストール.....	2		
共存サポート.....	2		
Windows x64 プラットフォームのサポート.....	3		
Chapter 3. Z&I Windows 用エミュレータ のインストール.....	4		
Microsoft® Windows インストーラ.....	4		
標準インストール.....	5		
カスタムインストール.....	7		
機能の選択.....	9		
機能のインストール・オプション.....	10		
サイレント・インストール.....	11		
標準ユーザーの自動アップグレード.....	12		
前提条件.....	13		
ZIEWIN Refresh Pack Update Installer を使用したアップグレード.....	14		
手動インストールのステップ.....	14		
オンラインセッションの開始/構成ユーティリティを使用して、インストールするステップ.....	15		
インストール手順.....	15		
Managed ZIEWIN を使用してインストールするステップ.....	15		
関連する設定.....	16		
HCL ZIE License Manager のインストール.....	16		
Chapter 4. 初期設定 (応答) ファイルを使用した Z&I Windows 用エミュレータ のインストール.....	18		
初期設定ファイル処理を使用したサイレント・インストール.....	18		
Chapter 5. 管理インストール.....	20		
ネットワークサーバーからのインストール.....	21		
ソースから実行する、ソースメディアがネットワークサーバーの場合.....	21		
Chapter 6. Z&I Windows 用エミュレータ の保守インストール.....	23		
Chapter 7. のリモート・インストール Z&I Windows 用エミュレータ.....	24		
SMS を使用したリモート・インストール.....	24		
Active Directory グループ・ポリシーを使用したリモート・インストール.....	24		
Chapter 8. InstallShield コマンド行パラメーター.....	25		
パラメーターの説明.....	25		
Chapter 9. 本書で使用されている略語.....	28		

第1章. 概要

Z&I Windows 用エミュレータ では、3270、5250、および VT エミュレーションを提供して、z/OS™、z/VM™、eServer™ i5、iSeries™、System i5™、zSeries™、および ASCII システムに接続します。

Z&I Windows 用エミュレータ は、すべてのインストール手順で Microsoft® Windows インストーラ テクノロジーを使用しています。本書では、Windows インストーラ サービスを使用して、Z&I Windows 用エミュレータ を正しくインストールし、カスタマイズする方法を詳しく説明します。Windows インストーラ サービスについて詳しくは、[Microsoft Windows インストーラ \(ページ 4\)](#)を参照してください。Z&I Windows 用エミュレータ 製品の機能について詳しくは、「インストールと使用の手引き」を参照してください。

次に、Z&I Windows 用エミュレータ のインストール、構成、および使用に役立つ事項について説明します。

インフォメーション・センター

文書、および他のリソースへのリンクは、下記アドレスにある、Z&I Windows 用エミュレータ インフォメーション・センター で提供されています。

<https://help.hcltechsw.com/zie/ziewin/3.0/ja/index.html>

インフォメーション・センター には、キーボードのレイアウトやホスト・コード・ページ表など、本書にはない参照資料が収録されています。

Z&I Windows 用エミュレータ インフォメーション・センター では、英語で情報を表示できます。

Chapter 2. インストール予定Z&I Windows 用エミュレータ

この章では、が提供するコンパニオン製品について説明します。Z&I Windows 用エミュレータおよびインストールの前に考慮すべきトピックZ&I Windows 用エミュレータバージョン 3.0.

HCL ZIE License Manager のインストール方法については、次のページを参照してください。[HCL ZIE License Manager のインストール on page 16](#)にアクセスし、トピック[ライセンスマネージャー設定の設定](#)を参照して、ZIEWin 用 ZIE ライセンスマネージャーを設定します。

インストール前の考慮事項

ディスク・スペース所要量

Windows® ボリューム (Windows® フォルダーが格納されたドライブ) 以外のドライブに Z&I Windows 用エミュレータをインストールする場合、Windows® ボリュームにも、180 MB 程度の使用可能なフリー・スペースが必要となる場合があります。これは、Windows® およびシステム・フォルダーへのファイルのインストールと、Windows Installer サービスによる Installer データベースのキャッシング、およびインストール中に Windows Installer サービスが一時ディスク・スペースを使用するためです。

移行に関する考慮事項

Z&I Windows 用エミュレータ はいくつかの移行オプションを提供しています。バージョン 3.0 で使用できるように、ユーザーのセッション・プロファイル、バッチ・ファイル、および他の構成情報を確実に移行するために、[カスタムインストール \(ページ 7\)](#)を参照してください。

移行する場合に、すべてのアクティブな Z&I Windows 用エミュレータ のセッションとアクションを終了するように要求されることがあります。

マルチブート環境インストール

別のオペレーティング・システムのもとでZ&I Windows 用エミュレータが既にインストールされているサブディレクトリーに、Z&I Windows 用エミュレータをインストールしたい場合、旧バージョンを最初に除去する必要があります。削除しないと、どちらのオペレーティング・システムからもZ&I Windows 用エミュレータを実行できないなど、予測できない結果が生じる可能性があります。

共存サポート

iSeries Access

ZIEWin と同様のその他のエミュレーターでは共存が制限されます。HCL Z&I Windows 用エミュレータ を同様の製品が存在するシステム上にインストールすることはできません (逆も同様)。

iSeries Access PC5250 コンポーネント向けの共存サポートは提供されていません。iSeries Access PC5250 コンポーネントは、Z&I Windows 用エミュレータ をインストールする前に削除しておく必要があります。

ユーザーが適切な通知メッセージを受け取るための共存シナリオの一部を以下に示します。

- 同様の製品の上に **HCL Z&I Windows 用エミュレータ** をインストールすると、次のメッセージが表示されます:
 - 「HCL ZIE for Windows の導入は、同様の製品がシステムに既に導入されているため、これ以上続行できません。」
- **HCL Z&I Windows 用エミュレータ** の上に ZIEWin と同様のその他のエミュレーターをインストールすると、次のメッセージが表示されます:
 - 「セットアップは、このシステムに同様の製品の**前バージョン**が既にインストールされていることを検出しました。セットアップを再度実行する前に、既存のバージョンをアンインストールする必要があります。」
- 基本バージョンまたはリフレッシュ・パック・バージョンがインストールされていないシステムで **HCL Z&I Windows 用エミュレータ** リフレッシュ・パック更新インストーラーをインストールすると、次のメッセージが表示されます:
 - 「基本バージョンがインストールされていないため、HCL Z and I Emulator for Windows RP** は続行できません。」

Windows x64 プラットフォームのサポート

Microsoft Windows Server 2003 の x64 ベースのバージョン、Microsoft Windows Server 2008、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows 10 は、ネイティブの 64 ビット・プログラムの実行に最適化されていますが、32 ビット・ドライバまたは 16 ビット・アプリケーションはサポートしていません。

これらのプラットフォームの場合、Z&I Windows 用エミュレータ は以下のフィーチャーおよびライブラリーをインストールしません。

- 16 ビット API サポート:
 - 標準 EHLLAPI 16 ビット・インターフェース
 - WinHLLAPI 16 ビット・インターフェース
 - PCSAPI 16 ビット・インターフェース

第3章. Z&I Windows 用エミュレータ のインストール

Z&I Windows 用エミュレータ には以下のインストール・オプションがあります。

- 管理インストール。ソース・メディアがネットワーク・サーバーの場合に、ソースからのインストールまたは実行を含む。詳しくは、[管理インストール \(ページ 20\)](#)を参照してください。
- Microsoft® Systems Management Server (SMS) を使用するリモート・インストール。詳しくは、[リモート・インストール Z&I Windows 用エミュレータ \(ページ 24\)](#)を参照してください。
- HCL Z&I Windows 用エミュレータ のインストールおよびアンインストールは、`setup.exe` を使用するか、SCCM (Deployment tool) を使用して手動で実行する必要があります。構成および前提条件のチェックは `setup.exe` を使用する場合にのみ発生します。

Z&I Windows 用エミュレータ は、インストール手順をカスタマイズするための機能も提供しています。サイレント・インストールの実行を含む、初期設定ファイル処理を使用したカスタマイズについての情報は、[初期設定 \(応答\) ファイルを使用した Z&I Windows 用エミュレータ のインストール \(ページ 18\)](#)を参照してください。

この章では、標準セットアップと カスタム・セットアップだけでなくサイレント・インストール・オプションについても説明します。さらに、Microsoft® Windows インストーラ サービスについての概要も説明します。

Microsoft® Windows インストーラ

Z&I Windows 用エミュレータ は、Windows インストーラ サービスを使用します。Z&I Windows 用エミュレータ インストール・イメージは、初回実行時に、ターゲット・システムを検査し、必要であれば Windows インストーラ サービスの適切なバージョンを自動的にインストールします。

Setup.exe は、Windows インストーラ サービス (msiexec.exe) を呼び出し、インストール・ダイアログを立ち上げるブートストラップ・ローダーです。Microsoft® Windows インストーラ サービスについて詳しくは、オンライン (<http://www.msdn.microsoft.com>) で入手できる Windows インストーラ SDK を参照してください。setup.exe についての詳細は、「[IPWI コマンド行パラメーター \(ページ 25\)](#)」を参照してください。



注: Z&I Windows 用エミュレータ をインストールする際は、以下の点を考慮してください。

- Windows インストーラのインストールによって、システムがリブートされることがあります。リブートが必要な場合でも、再始動の直後、Windows インストーラ に戻るので、Z&I Windows 用エミュレータ のインストールを継続して行うことができます。
- Windows インストーラ が正しくインストールされている場合は、Z&I Windows 用エミュレータ のインストールが失敗した場合、またはユーザーによって 取り消された場合、Windows インストーラ が部分的にインストールされた Z&I Windows 用エミュレータ のファイルをすべて ロールバックし、システムを元の状態に戻します。
- これらの製品のインストールを実行するには、アドミニストレーター・グループのメンバーである必要があります。



- ・インストールを開始する前に、他のすべてのアプリケーションが停止している ことを確認してください。Z&I Windows 用エミュレータ の再インストールまたは Z&I Windows 用エミュレータ のアップグレードを行う場合には、セットアップを開始する前に、Z&I Windows 用エミュレータ が実行中ではないことを確認してください。

標準インストール

標準インストールでは、インストール用のすべてのデフォルト機能を選択します。機能はプログラムの特定の機能として定義されています。デフォルトの機能のリストは、[機能の選択 \(ページ 9\)](#)を参照してください。カスタム・インストール・オプションを 選択して、Z&I Windows 用エミュレータ の機能をカスタマイズすることができます ([カスタムインストール \(ページ 7\)](#)を参照)。

標準インストールを開始するには、「インストール・タイプ」パネルで「次へ」をクリックします。Z&I Windows 用エミュレータ がディスク・スペース所要量を 計算中であることを示すパネルが表示されます。



注: インストールがこの点を過ぎると、インストール・タイプを変更することはできません。したがって、インストール・タイプを変更したい場合は、「アプリケーション・データ」パネルでインストールをキャンセルし、新規インストールを始める 必要があります。

標準インストールを続ける場合は、次のインストール手順を 使用してください。

1. 「アプリケーション・データのロケーション」ダイアログがオープンします。以下の アプリケーション・データのロケーション・オプションから選択します。
 - ・ユーザーのアプリケーション・データ・フォルダー ([UserProfile]\Application Data)
 - ・すべてのユーザーの共通アプリケーション・データ・フォルダー (All Users\Application Data)
 - ・従来の専用ディレクトリー

Z&I Windows 用エミュレータ は複数の構成ファイルを使用します。そのうち、ユーザー・クラス・ファイルはユーザー・プロファイルごとに個々に保管することができます。一方、システム・クラス・ファイルは共通の場所に保管されます。ユーザー・クラスおよびシステム・クラスのファイルおよびロケーションの詳細については、「はじめに」を参照してください。

[UserProfile]\Application Data のロケーションを選択すると、 次のプロファイル・パスが使用されます。

オペレーティング・システム	ユーザー・クラス・ディレクトリー (現行ユーザー) ³	システム・クラス・ディレクトリー
Windows® Server 2003	C:\Documents and Settings\ %USERNAME%\Application Data\HCL\ZIE Windows 用	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HCL\ZIE Windows 用
Windows Vista、Windows 7、Windows Server	C:\Users\%USERNAME%\AppData\Roaming\HCL\ZIE for Windows	C:\ProgramData\HCL\ZIE Windows 用

オペレーティング・システム	ユーザー・クラス・ディレクトリー (現行ユーザー) ³	システム・クラス・ディレクトリー
2008、Windows 10 x64		

All Users\Application Data のロケーションを選択すると、次のプロファイル・パスが使用されます。

オペレーティング・システム	ユーザー・クラス・ディレクトリー (現行ユーザー) ³	システム・クラス・ディレクトリー
Windows® Server 2003	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HCL\ZIE Windows 用	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HCL\ZIE Windows 用
Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、Windows 10 x64	C:\ProgramData\HCL\ZIE Windows 用	C:\ProgramData\HCL\ZIE Windows 用


従来の専用プライベート・ディレクトリーのロケーションを選択すると、以下のプロファイル・パスが使用されます。

オペレーティング・システム	ユーザー・クラス・ディレクトリー (現行ユーザー) ^{1、2、3}	システム・クラス・ディレクトリー
Windows® Server 2003、Windows Vista、Windows 7 & Windows Server 2008、Windows 10 x64	C:\Program Files\HCL\ZIE Windows 用\Private	C:\Program Files\HCL\ZIE Windows 用\Private

¹ ユーザー設定マネージャー (UPM) がデフォルト・ディレクトリー以外のディレクトリーに設定された場合、Z&I Windows 用エミュレータはそのディレクトリーを使用してユーザー・クラス・ファイルを保管します。システム・クラス・ファイルは常に専用ディレクトリーに保管されます。

² 従来の専用ディレクトリーのロケーションの場合、Z&I Windows 用エミュレータがインストールされるドライブは、C:\Program Files\HCL\ZIE Windows 用 です。


³ FTP クライアント構成ファイルは、前述のプロファイル・パスの FTP フォルダーの下に格納されます。

オペレーティング・システム	ユーザー・クラス・ディレクトリー (現行ユーザー) ^{1, 2, 3}	システム・クラス・ディレクトリー
 注: Windows x64 プラットフォームでのインストールでは、ディレクトリー・パス Program Files は Program Files (x86) に置き換えられます。		

アプリケーション・データのロケーションを選択したら、「次へ」をクリックしてインストールを続けます。

2. 「プログラムのインストール準備完了」ダイアログがオープンします。以前に設定した値を変更する場合は「戻る」をクリックします。あるいは、インストール・プロセスを終了する場合は「キャンセル」をクリックします。インストールを続行する場合は、「インストール」をクリックします。

標準セットアップでは、プログラム・インストールで次のディレクトリーを使用します。C:\Program Files\HCL\ZIE Windows 用

 **注:** C: ドライブに十分なディスク・スペースがない場合は、代替りのインストール宛先を選択するために、カスタム・インストールのセットアップ・タイプを選択するようプロンプトが出されます。

インストールが完了すると、「インストールの完了」ダイアログがオープンします。「完了」をクリックしてインストール処理を終了します。

インストールが完了すると、コンピューターをリブートするようにプロンプトが出されます。構成変更を有効にし、Z&I Windows 用エミュレータを使用できるようにするには、コンピューターをリブートする必要があります。

 **注:**

1. 「標準 (Typical)」では、適用できるエミュレーター用の最もよく使用される機能をインストールします。
2. 「標準」では、API サンプル・プログラムは組み込みません。

カスタムインストール

カスタムセットアップのデフォルトの機能選択は通常のセットアップと同じですが、カスタム設定を使用すると、システムに合わせて機能選択を変更できます。カスタムインストールのセットアップを続行するには:

1. ボタンをクリックして、**カスタム**セットアップタイプを選択します。**[次へ]**をクリックして続行します。
2. 英語版製品が自動的にインストールされます。システムのデフォルト言語ロケールと英語のみが default です。インストールする追加言語を選択します。**[次へ]**をクリックして続行します。次のことを示すパネルが表示されます。Z&I Windows 用エミュレータは必要ディスク容量を計算中です。



Note: このポイントを経過したインストールのタイプは変更できません。この場合、「アプリケーションデータ」パネルでインストールをキャンセルし、新規インストールを開始する必要があります。

3. 「カスタム」セットアップダイアログが開き、インストールするプログラムの機能を選択します。一部の機能には使用可能なサブ機能があります。特定の機能のサブ機能を表示するには、機能名の左の正記号 (+) をクリックします。

[カスタムセットアップ] ウィンドウには **[機能の説明]** が含まれています。機能をクリックすると、機能の説明を表示できます。次に、機能選択ツリーの右にある説明セクションを参照してください。機能の説明には、各機能の基本情報と、インストールに必要なディスク容量が記載されています。各機能に必要なディスク容量の詳細を表示するには、「**ディスク容量**」ボタンをクリックしてください。使用可能な機能については、を参照してください。 [機能の選択 on page 9](#) .機能のインストールオプションの説明については、を参照してください。 [機能のインストール・オプション on page 10](#) .

4. カスタムセットアップダイアログから、次のことができます。Z&I Windows 用エミュレータがインストールされていること。「**変更**」ボタンをクリックして、別のインストール・ディレクトリーを選択してください。
5. 機能の選択を行い、インストール・ディレクトリーを確認したら、「**次へ**」をクリックしてインストールを続行します。



Note: 宛先ドライブに十分な容量がない場合、別の場所を選択するように要求されます。

6. 「アプリケーションデータの場所」ダイアログが開きます。次のアプリケーションデータの場所オプションから選択します:

- ユーザーのアプリケーションデータフォルダ ([UserProfile]\Application Data)
- すべてのユーザーの共通アプリケーションデータフォルダ (すべてのユーザー\アプリケーションデータ)
- クラシック個人ディレクトリー

参照 [標準インストール on page 5](#) 各アプリケーションデータの場所に使用されるプロフィールパスに関する情報を参照してください。ワークステーションプロファイルを含むアプリケーションデータの場所の詳細については、クイックスタートガイドを参照してください。 **[次へ]** をクリックして続行します。

7. 「自動移行オプション」ダイアログが開きます。デフォルトでは、「**プロフィールの自動移行**」ボックスがチェックされています。このチェックボックスをクリアすると、移行は実行されません。「アプリケーション・データの場所」ダイアログに指定した情報に基づいて、利用可能な移行の選択肢があります。[アプリケーションデータの場所] ダイアログの詳細は、を参照してください。 .

デフォルトでは、アプリケーションデータの場所で利用可能な最高レベルの移行が選択されています。これは、ご使用の構成で推奨される移行レベルです。デフォルトの移行オプションを使用してインストールを続行することも、別の移行レベルを選択することもできます。各アプリケーションデータの場所で使用可能なさまざまな移行レベルの説明については、を参照してください。 .

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

8. インストールの準備ができたダイアログが開きます。「インストール」をクリックして **インストール** を完了します。

機能の選択

Z&I Windows 用エミュレータ で選択可能な機能とサブ機能を、[表 1: 機能選択ツリーの内容 \(ページ 9\)](#) で説明しています。この表では、機能がデフォルトでインストールされるのかも示しています。



注: 「カスタム・セットアップ」ウィンドウでは、機能名の左方のアイコンが白であれば、その機能とそれに属するすべてのサブ機能がインストールされます。アイコンがグレーならば、その機能またはその 1 つ以上のサブ機能はインストールされません。

表 1. 機能選択ツリーの内容

機能	説明	選択可能なサブ機能	デフォルト
3270 エミュレーションおよびサービス	ユーザーのワークステーションは zSeries™ 端末装置 (ディスプレイ、プリンター、またはその両方) をエミュレートできます。エミュレーター API (EHLAPPI、PCSAPI、DDE および など) およびユーティリティ (複数セッション、メニュー・バー、および Zip 印刷など) がインストールされます。	ZipPrint	はい
3270 エミュレーションおよびサービス	ユーザーのワークステーションは、TN3270、TN3270E 端末装置 (ディスプレイ、プリンター、またはその両方) をエミュレートできます。エミュレーター API とユーティリティ (複数セッション、メニュー・バー、およびデータ転送など) がインストールされます。	Zipprint デフォルトははい	
5250 エミュレーションとサービス	ユーザーのワークステーションは iSeries™、eServer™ i5 または System i5™ 端末装置 (ディスプレイ、プリンター、またはその両方) をエミュレートできます。エミュレーター API とユーティリティ (複数セッション、メニュー・バー、およびデータ転送など) がインストールされます。	データ転送 • iSeries™ 接続の設定	はい
VT Emulation	ワークステーションは ASCII 端末をエミュレートすることができます。エミュレーター API (複数セッショ	なし	はい

表 1. 機能選択ツリーの内容 (続く)

機能	説明	選択可能なサブ機能	デフォルト
	ン、およびメニュー・バーなど) がインストールされます。		
Fonts	特殊 3270 などのその他のフォントが使用できます。	ダイアログにリストされているフォント	はい
Secure Sockets Layer	暗号化と認証カスタマイズを行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> MS CryptoAPI Security 	いいえ
Administrative and PD Aids	診断および更新ツールが組み込まれます。	<ul style="list-style-type: none"> ログ・ビューアー 情報バンドラー <ul style="list-style-type: none"> インターネット・サービス 	はい
Utilities	インストールできるオプショナル・プロダクト・ユーティリティ。	<ul style="list-style-type: none"> マクロの変換 メニュー・バー構成ユーティリティ 複数セッション ユーザー・プリファレンス FTP クライアント 	はい
Emulator Programming APIs	API とサンプル・プログラム	.NET Interops <ul style="list-style-type: none"> GAC に登録 Interops サンプル API のサンプル・プログラム <ul style="list-style-type: none"> C++ 用ホスト・アクセス・クラス・ライブラリー Visual Basic 各種 API 	いいえ



注:

1. .NET Interops の **GAC への登録** オプションは、インストール・プログラムによって .NET フレームワークが検出された場合にのみ使用することができます。しかし、プライマリー FTP クライアント・アセンブリが GAC に登録されることはありません。

FTP クライアントの場合、システムに .NET Framework バージョン 2.0 以上がインストールされている必要があります。

機能のインストール・オプション

それぞれの機能とサブ機能はいくつかのインストール・オプションを使用できます。それぞれの機能で使用できるオプションを表示するには、機能名の左方のドロップダウン・アイコンをクリックします。ドロップダウン・メニューで必要なインストール・タイプをクリックして選択します。それぞれの可能なインストール・オプションの説明は次のとおりです。

- ・「**この機能は CD から実行するためにインストールされます**」を選択すると、ソース・メディアがローカル・ワークステーションのインストール・イメージであるソースから、この機能は実行されます。このオプションはトップレベル機能にのみ使用可能で、機能を実行するために必要な基本ファイルのみをインストールします。



注: ネットワークからインストールする場合は、このオプションの代わりに「**この機能はネットワークからインストールされます**」が表示されます。ネットワーク・サーバーから実行する場合について詳しくは、「[ネットワークから実行するためのインストール \(ページ 21\)](#)」を参照してください。

- ・「**この機能、およびすべてのサブ機能は CD から実行するためにインストールされます**」を選択すると、メイン機能およびすべての関連するサブ機能は、ソース・メディアがローカル・ワークステーションのインストール・イメージであるソースから実行されます。このインストール・オプションは機能を実行するために必要な基本ファイルのみをインストールします。



注: ネットワークからインストールする場合は、このオプションの代わりに「**この機能、およびすべてのサブ機能はネットワークからインストールされます**」が表示されます。ネットワーク・サーバーから実行する場合について詳しくは、「[ネットワークから実行するためのインストール \(ページ 21\)](#)」を参照してください。

- ・「**この機能は必要に応じてインストールされます**」は、Z&I Windows 用エミュレータ のメニューにショートカットを作成します。このショートカットを選択すると、その機能がインストールされます。このインストール・オプションは案内とも呼ばれます。
- ・「**この機能は利用できません**」は、インストール用または案内用の機能を選択解除します。

サイレント・インストール

Z&I Windows 用エミュレータ は setup.exe によって MSI (Windows インストーラ データベース) パッケージにコマンド行パラメーターを渡すことにより、サイレント・インストールを行うことができます。サイレント・インストールを実行すると、ユーザーが、ダイアログを通じての入力データの提供や、インストール・プロセス中の進行状況バーの確認を行うことはありません。その代わりに、標準構成、または初期設定ファイル処理中に作成されたカスタム構成を使用して、インストールは自動的に行われます。



注: サイレント・インストールで移行する場合、すべてのアクティブな Z&I Windows 用エミュレータ のセッションとアクションは通知なしに終了されます。

初期設定ファイル処理について詳しくは、[初期設定 \(応答\) ファイルを使用した Z&I Windows 用エミュレータ のインストール \(ページ 18\)](#)を 参照してください。setup.exe コマンド行パラメーターを使用してサイレント・インストールを実行する際の情報は、「[IPWI コマンド行パラメーター \(ページ 25\)](#)」を参照してください。

標準ユーザーの自動アップグレード

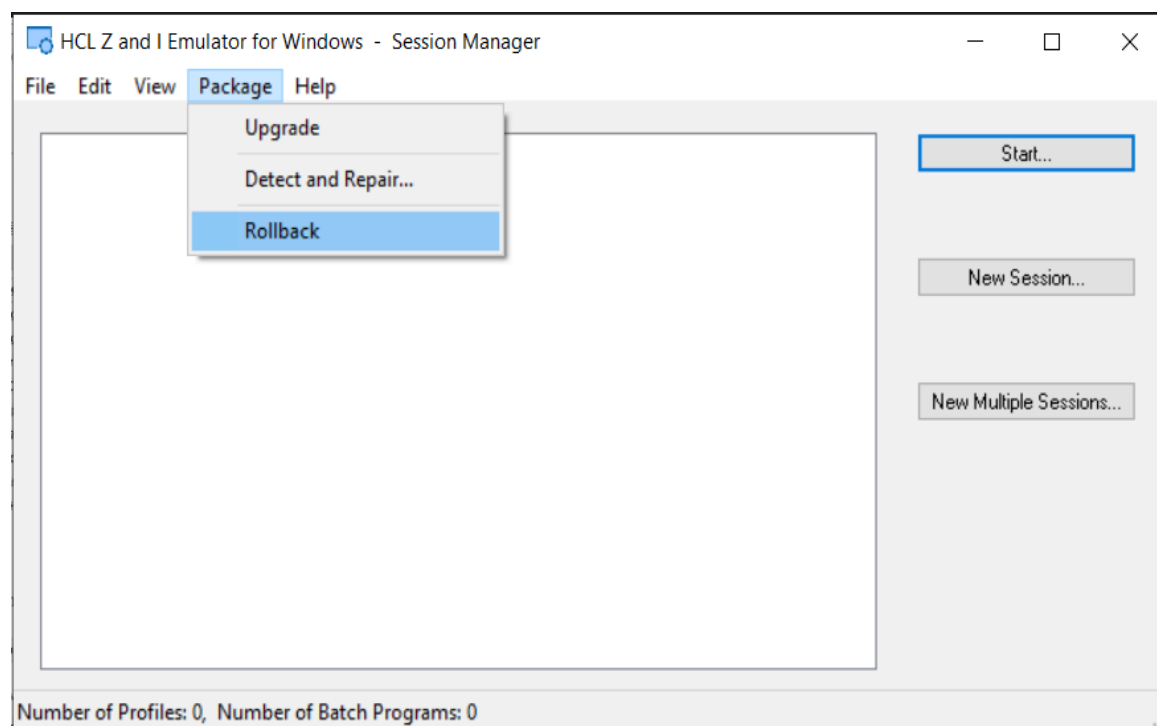
バージョン 2.0 以降、標準ユーザー (「**Administrator**」グループに属していない Windows ユーザー) の自動アップグレードは有効です。アップグレードとロールバックは、Session Manager の「**パッケージ**」メニューから実行します([オンライン/オフライン](#))。

Z&I Windows 用エミュレータ Service」は、Z and I Emulator for Windows、**ベースパックのインストール**中にサービスに登録できます。

ロールバックするステップ:

アップグレードが正常に完了した後、前のバージョンに**ロールバック**するには、**Session Manager (オンライン/オフライン)**。

メニューオプションが無効なセッションマネージャ



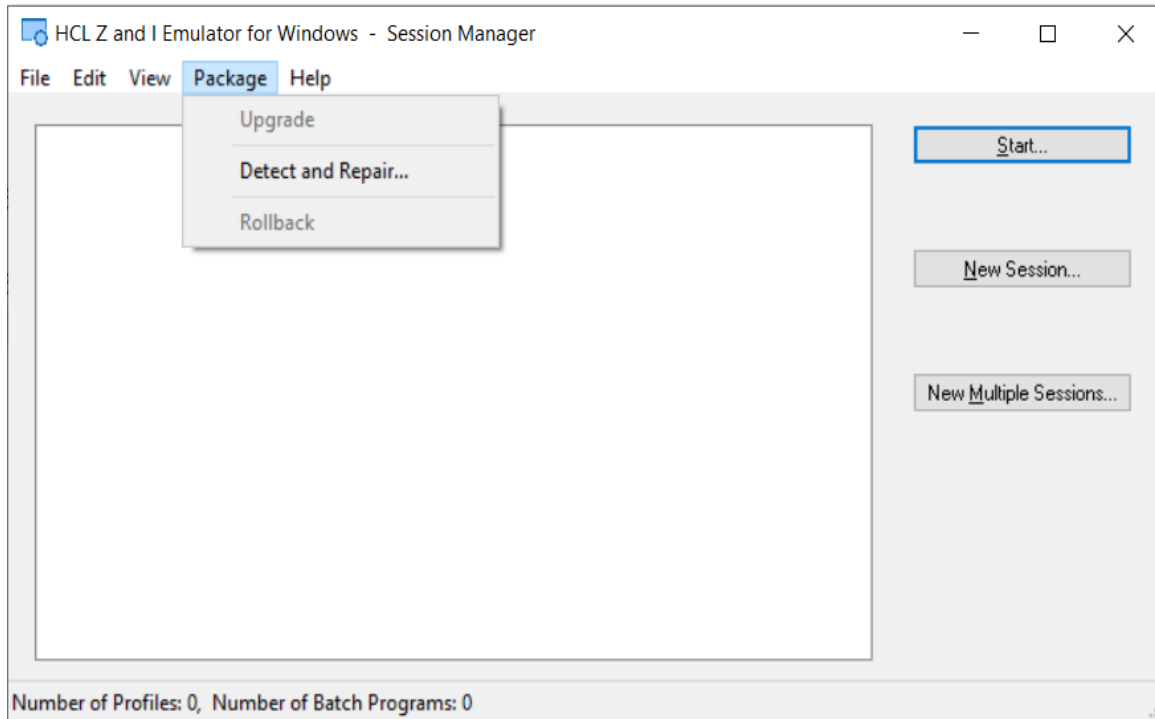
標準ユーザーの自動アップグレードを有効にするステップ:

標準ユーザーに対して「アップグレード」と「ロールバック」メニューオプションを有効にするには、MZIEWIN.cnf設定ファイルで「有効」キーワード値を「はい」に設定します。



Note: デフォルトでは、: "EnableUpdatePrivilege"値はNOに設定されています。

メニューオプションが無効なセッションマネージャ



Note: デフォルトでは、「アップグレード」と「ロールバック」メニューオプションは有効です。

前提条件

ベースバージョンZ and I Emulator for Windowsバージョン 2.0 フルインストーラーをシステムにインストールしてから、上位バージョンのRefreshPack 更新インストーラーをインストールする必要があります。ベースバージョンがバージョン 3.0 より前の場合のアップグレードおよびロールバックを実行できるユーザーは管理者である必要があります。



Note: バージョン 2.0 以降、「Administrator」グループに属していない Windows ユーザー (標準ユーザー) が自動アップグレード機能を使用できるようになりました。標準ユーザー (基本バージョン 3.0 以上のみ) の最新バージョンへ。

ZIEWIN Refresh Pack Update Installer を使用したアップグレード

Refresh Pack Update インストーラは、軽量のインストーラであり、ZIEWIN バージョン 2.0 ベースバージョンのリリース後に開発されたフィックスのみを含みます。各更新インストーラは実際には累積的です。つまり、新規の更新インストーラには、以前の更新インストーラでの修正も含まれます。これを行うには、ZIEWIN バージョン 3.0 ベースバージョンまたは更新パックがインストールされている必要があります。

ZIEWin リフレッシュ・パック更新インストーラーがアップグレードされると、「プログラムの追加と削除」には、最新のリフレッシュ・パック更新インストーラーのバージョンと、ZIEWin の基本バージョンまたはリフレッシュ・パック・バージョンの両方が表示されます。

これらの更新パック更新インストーラは累積的であるため、システムには 1 つの更新パック更新インストーラのみがインストールされます。システムに更新パック更新インストーラの古いバージョンがインストールされている場合、この更新インストーラはインストールの前に古いバージョンをアンインストールします。

リフレッシュ・パック更新インストーラーを手動でアンインストールすると、ZIEWin のバージョンは、初期の基本バージョンまたはリフレッシュ・パック・バージョンにロールバックされます。

ZIEWin をアンインストールするには、必ず最初にリフレッシュ・パック更新インストーラーをアンインストールし、その後基本バージョンまたはリフレッシュ・パック・バージョンをアンインストールすることをお勧めします。

- [前提条件 on page 13](#)
- [標準ユーザーの自動アップグレード on page 12](#)
- [インストール手順 on page 15](#)
- [手動インストールのステップ on page 14](#)
- [オンラインセッションの開始/構成ユーティリティを使用して、インストールするステップ on page 15](#)
- [Managed ZIEWIN を使用してインストールするステップ on page 15](#)

手動インストールのステップ

手動でインストールするには、以下のステップを参照してください。

1. Base または Refresh pack バージョンがユーザーのマシンにインストールされていることを確認します。
2. Refresh Pack Update インストーラ zip を抽出して、「Z and I Emulator for Windows RP**.msi」。
3. 「Z and I Emulator for Windows RP**.msi」(メッセージ、「Z and I Emulator for Windows RP***」が表示されます)。
4. 「次へ」をクリックして、次のパネルに移動します。
5. 「次へ」をクリックして、「インストールの準備完了」パネルでインストールを続行します。
6. 「インストール」をクリックし、「終了」をクリックします。

オンラインセッションの開始/構成ユーティリティを使用して、インストールするステップ

オンラインセッションの開始または構成ユーティリティを使用してインストールを行うには、以下のステップを検索してください。

1. ベース/リフレッシュ パックがユーザー マシンにインストールされていることを確認します。
2. Refresh Pack Update インストーラ zip を抽出して、Z and I Emulator for Windows RP**.msi" と MZIEWin.cnf" ファイルを開きます。
3. cnf は、Refresh Pack 更新インストーラのプロパティが含まれるアップグレード構成ファイルです。
4. をコピーします。Z and I Emulator for Windows RP**.msi" と MZIEWin.cnf" を Web サーバー URL に送信します。この URL は、ベース/更新パックのインストール中にユーザーが指定するか、「設定」ユーティリティを介して構成できます。
5. 「セッションの開始と構成 - オンライン」ユーティリティを呼び出します。インストールされている ZIEWin のバージョンが更新パック更新インストーラのバージョンよりも古い場合は、アップグレードするようにプロンプトが表示されます。
6. 「はい」をクリックしてアップグレードを続行します。

インストール手順

以下のインストールステップを検索してください。

1. **RefreshPack** zip ファイルを抽出して、RefreshPack 更新インストーラを取得します。Z and I Emulator for Windows RPx.msi" と設定ファイル **MZIEWIN.cnf** が含まれています。これは、インストールベースバージョンよりも高いバージョン 2.0 の場合です。
2. ダブルクリック Z and I Emulator for Windows RPx.msi。 「Installshield ウィザードへようこそ」というメッセージが表示されます。Z and I Emulator for Windows RPx」が表示されます。
3. 「次へ」をクリックすると、次のパネルにリダイレクトされます。
4. 「次へ」をクリックして、「プログラムのインストールの準備完了」パネルにインストールします。
5. [インストール] をクリックし、[終了] をクリックします。

Managed ZIEWIN を使用してインストールするステップ

Install への次のステップを検索:

1. ベースバージョンをインストールした後、**RefreshPack** zip ファイルを展開して、Z and I Emulator for Windows RPx.msi と **MZIEWIN.cnf** を、指定された WebServerURL の場所にコピーします。



Note: 本「クイックガイド」の「HACP サーバーの詳細」トピックの下の「Web サーバーの詳細」セクションを参照してください。

2. ZIEWIN クライアントから、[セッションの開始と構成 - オンライン] を呼び出します。ユーザーは、使用可能な最新の ZIEWIN バージョンに関する通知を受け取ります。アップグレードするには、「自動更新」を参照してください。Z and I Emulator for Windows .
3. **[更新]** をクリックします。アプリケーションを閉じ、RefreshPack をインストールするためのインストーラーをダウンロードします。
4. 2.0 以降、Session Manager (オンライン/オフライン) の「パッケージ」メニューから、アップグレードと **ロールバック** が実行されます。



Note: 2.0 以降のベース バージョン。

関連する設定

関連する次の設定を確認:

- [Z and I Emulator for Windows RP は累積的です。
- 言語は日本語をサポートします。
- すべての APAR、バグ、PMR を含む、更新パックに必要なすべてのファイルを追加します。
- インストール時 Z and I Emulator for Windows 3.0、ベースパック Z and I Emulator for Windows インストールは自動アップグレードです。
- RefreshPack は、ベースパッケージファイルのバックアップをインストールディレクトリの下に新規に作成されたフォルダ BackupBase に取り、それらを RP1 に復元します。
- RefreshPack が、HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HCL\ の下のレジストリキーを上書きする Z and I Emulator for Windows\CurrentVersion\VersionNumber. RefreshPack バージョン。アンインストール後、レジストリキーはベースバージョンに置換されます。
- 共存を制限するための新しいレジストリキーが HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HCL\ に追加されます。Z and I Emulator for Windows \CurrentVersion\VersionNumber 値:-Fixpack_Version = 3.0.x で、アンインストール後にキーは削除されます。
- 3.0.x をアンインストールしても 3.0 ベースバージョンに影響を与えずに可能
- 新規 ARP エントリ Z and I Emulator for Windows 3.0.x に加えて、コントロールパネルに追加されました。Z and I Emulator for Windows 3.0 であり、アンインストール後に削除されます。

HCL ZIE License Manager のインストール

ライセンスマネージャーは、エンドユーザーとソフトウェアベンダーとの間の効果的なソフトウェア管理を容易にするツールです。これにより、組織は、会社のソフトウェア製品の使用状況を追跡し、文書化できます。

HCL ZIE License Manager は、メインフレーム端末 + エミュレータ製品のライセンス情報のトラッキングに使用するライセンス管理ツールです。

HCL ZIE License Manager インストーラファイルを見つけるためのステップ:

1. **HCL_ZIE_for_Windows*.zip**をマシンにダウンロード/コピーします。
2. **HCL_ZIE_for_Windows*.zip**を抽出します。
3. 「ZIE License Manager」サブフォルダを開いて、「License Manager.war」と「License Manager.ear」ファイルを検索してください。

HCL ZIE License Manager のインストールの詳細については、[HCL ZIE License Manager](#) を参照してください。

ZIEWin 用に ZIE License Manager を設定するには、「[ライセンスマネージャ設定の設定](#)」のトピックを参照してください。

第4章. 初期設定 (応答) ファイルを使用した Z&I Windows 用エミュレータ のインストール

Z&I Windows 用エミュレータ は、1つのインストール中に作成された特性値と 機能のインストール選択項目が、後続のインストール中に 自動的に適用できるようにするカスタマイズのオプションの方法を提供しています。初期設定ファイル (.ini) は、初期設定の選択項目として Windows インストーラ が使用するための 特性とオプションを含んでいるので、後続のインストールではユーザーがダイアログを使用してインストール入力をする必要はありません。これにより、今後のインストールが、初期設定ファイルを使用してサイレント方式 で実行されるように設定できます。

アドミニストレーターはコマンド行パラメーターを使用して、初期設定ファイルを作成し、保存し、実装することができます。Z&I Windows 用エミュレータ は次の4つのコマンド行パラメーターを提供します。

- SAVEINI
- ONLYINI
- USEINI
- REMOVEINI

それぞれのパラメーターは、対応する使用方法の説明と共に、以下のセクションで説明します。

Z&I Windows 用エミュレータ インストール・イメージに2つのサンプル初期設定ファイルが組み込まれています。これらのサンプル初期設定ファイルは、ワークステーション構成がサンプル内の定義と一致する場合に、インストール時に使用することができます。Z&I Windows 用エミュレータ は次のサンプル .ini ファイルを組み込んでいます。

- **typical.ini** は標準セットアップをインストールします
- **custom.ini** はカスタム・セットアップをユーザー定義のパスにインストールします

サンプルは、Z&I Windows 用エミュレータの最初のインストール用に 定義されています。



注: 初期設定ファイル処理を正しく行うには、構文をすべて正しく使用してください。

初期設定ファイル処理を使用したサイレント・インストール

初期設定ファイルに指定された特性値と機能のインストール・オプションがユーザーによって指定変更されないようにしたり、インストールの容易性を拡張するために、初期設定ファイルを使用してサイレント・インストールを行うことができます。

初期設定ファイル処理を使用してサイレント・インストールを 実行するには、次のコマンドを入力します。

```
E:\install\ZIEWin_pkgs\xxx\install\ZIEWin\setup.exe /s /v"/L*v
\"%temp%\pcsinst.log\"
USEINI=\"C:\Program Files\HCL\ZIE Windows 用\ZIEWin.ini\" /qn"
```

xxx は、インストールされる ZIEWin 言語によって `mls` となります。

この処理では、サイレント・インストールのコマンド行パラメーター (`/qn`) を `setup.exe` によって MSI パッケージに渡します。`setup.exe` コマンド行パラメーターについての詳細は、「[IPWI コマンド行パラメーター \(ページ 25\)](#)」を参照してください。このパラメーターは、パス名の代わりにシステム変数を使用するコマンドに追加することもできます。

第5章. 管理インストール

管理インストールでは、Z&I Windows 用エミュレータ のインストール・ファイルのソース・イメージをネットワーク・ドライブにコピーします。このソース・イメージが結果的に置かれるロケーションは、インストール・ポイントと呼ばれます。管理インストールが完了したら、ネットワークに接続されているすべてのユーザーは、そのインストール・ポイントを指示しセットアップを実行して、自分のワークステーションに Z&I Windows 用エミュレータ をインストールすることができます。管理インストールではユーザーに2つのインストール選択項目を提案しています。

- ネットワーク・サーバーから自分のシステムへの直接インストール
- ネットワーク・サーバーから実行するためのインストール

管理インストールを開始するには、ユーザーのシステムのオートプレイ機能を使用不可にするか、または Z&I Windows 用エミュレータ のウェルカム・ウィンドウがオープンされている場合はそれをクローズします。ドライブ内のインストール・イメージを使用して、以下のことを行います。

1. コマンド・プロンプトを開き、以下を入力して Z&I Windows 用エミュレータ のインストール・ディレクトリーに切り替えます。

```
E:
```

ここで、E: は、インストール・イメージ・ドライブです。

2. コマンド・プロンプトで以下のように入力します。

```
• cd ZIEWin_pkgs\mls\install\ZIEWin
```

英語の場合です。

3. このディレクトリーから、次のように入力します。

```
setup.exe /a
```

4. Windows インストーラの Z&I Windows 用エミュレータ 用のウェルカム・ダイアログがオープンします。【次へ】をクリックして、インストールを続けます。
5. 「ライセンス契約」ダイアログがオープンします。契約の条件を受け入れる場合は、ボタンをクリックします。【印刷】をクリックすると、ライセンス契約を印刷できます。ライセンス契約を受け入れない場合は、インストール・プロセスは終了します。【次へ】をクリックして先に進みます。



注: Windows® アドミニストレーターにはすべてのユーザーに代わってライセンス契約を受け入れるためのオプションがあります。これにより、ネットワーク・サーバーから Z&I Windows 用エミュレータ をインストールする すべてのユーザーは、インストール中にライセンス契約ウィンドウをスキップすることができます。

6. 「ネットワークのロケーション」ダイアログがオープンします。コマンド行に必要なネットワーク・インストール・ポイントを入力するか、または【変更】をクリックして、ロケーションを参照します。
7. インストール・プロセスを完了するには、【インストール】をクリックします。



注: ユーザーのネットワーク・サーバーから Z&I Windows 用エミュレータ のソース・イメージを除去するには、ネットワーク・ロケーションから手作業でソース・イメージ・ディレクトリーを削除しなければなりません。

ネットワークサーバーからのインストール

管理者インストールが完了したら、ネットワークに接続したすべてのユーザーが、Z&I Windows 用エミュレータでください。ネットワークサーバーからインストールするには:

1. クリック**実行...**をⓂ実行します。
2. タイプ

```
X:\MyLocal\setup.exe
```

をクリックすることもできます。(X: はネットワークサーバー、MyLocal は管理者インストールで指定したインストールポイントです) または、「**参照**」をクリックしてネットワーク上の場所を参照します。

3. [Windows インストーラようこそダイアログが開きます。の説明に従って、インストールを続行します。]

ソースから実行する、ソースメディアがネットワークサーバーの場合

管理者インストールが完了したら、ネットワークに接続したすべてのユーザーが、Z&I Windows 用エミュレータをユーザーのワークステーションに接続し、利用可能な機能をソースから実行するように指定します。ここで、ソースメディアはネットワークサーバー (参照**機能の選択 on page 9** (使用可能な機能の説明)) を参照してください。このシナリオでは、機能のショートカットはZ&I Windows 用エミュレータメニューを実行できます。ネットワークサーバーからインストールして実行するには:

1. クリック**実行...**をⓂ実行します。
2. タイプ

```
X:\MyLocal\setup.exe
```

をクリックすることもできます。(X: はネットワークサーバー、MyLocal は管理者インストールで指定したインストールポイントです) または、「**参照**」をクリックしてネットワーク上の場所を参照します。

3. [Windows インストーラようこそダイアログが開きます。の説明に従って、インストールを続行します。]、セッアップの種類として**カスタム**を選択します。
4. 「**機能の選択**」ダイアログで、希望する機能の右のアイコンをクリックすると、利用可能なインストールオプションが表示されます。
5. ネットワークサーバーから実行する機能を選択するには、次の2つのオプションのいずれかをクリックしてください:

- この機能をインストールしてネットワークから実行するか、ネットワークから実行する機能を1つ選択します。
 - この機能とすべてのサブ機能をネットワークから実行するようにインストールするには、機能と関連付けられたすべてのサブ機能をネットワークから実行することを選択します。
6. 機能の選択を行った後、の説明に従ってインストールを続行します。[カスタムインストール on page 7](#).



Note: ソースから実行することを選択した場合、機能ツリーでのサブ機能の選択/選択解除に関係なく、すべてのサブ機能を使用できます。

第 6 章. Z&I Windows 用エミュレータ の保守インストール

ユーザーのシステムに Z&I Windows 用エミュレータ を正常にインストールした後で、Z&I Windows 用エミュレータ プログラムに保守インストールを実行することができます。保守インストール・ユーティリティー には、3 つの機能があります。

- **「変更」** は、機能選択オプションを変更できるようにします。機能ツリーの選択を変更する場合の詳細は、[機能の選択 \(ページ 9\)](#)を参照してください。
- **「修復」** は、Z&I Windows 用エミュレータ の現行構成を分析し、損傷を受けた機能を修復または再インストールします。
- **「除去」** はユーザーのシステムから Z&I Windows 用エミュレータ を除去します。



注:

1. ユーザーのシステムから Z&I Windows 用エミュレータ を除去する際には、将来の Z&I Windows 用エミュレータ のインストール用に現行のプログラム構成を保存するためのオプションが示されます。現行の設定値を保存することを選択した場合、Z&I Windows 用エミュレータ の再インストール時に、その製品を再インストールするために以前の設定値を使用するかどうかを確認する プロンプトが出されます。
2. 管理インストール中に作成された Z&I Windows 用エミュレータ のソース・イメージを除去するには、ネットワーク・ドライブからソース・イメージ・ディレクトリーを 手作業で除去しなければなりません。

「プログラムの保守」 ダイアログがオープンしたら、**「変更」**、**「修復」**、または**「除去」**を選択しそれから**「次へ」**を選択します。



注: 保守インストールを正常に実行するには、Z&I Windows 用エミュレータ のインストール・イメージが、インストール・イメージまたはネットワーク・サーバーのいずれかで使用可能でなければなりません。ネットワーク・サーバーからインストールした場合は、インストール・イメージはまだネットワーク内の元のロケーションに存在しているはずです。インストール・イメージがそこにはない場合は、ユーザーのシステムに機能を追加する、あるいはシステムから Z&I Windows 用エミュレータ を除去するために、変更または除去ユーティリティーを使用すると、以下のエラー・メッセージの 1 つを受け取る場合があります。

- 使用しようとしている機能が利用できないインストール・イメージ上にあるか、または利用できない取り外し可能ディスク上にあります。
- 使用しようとしている機能が利用できないネットワーク・リソース上にあります。

保守インストールを継続するには、インストール・イメージを挿入するか、またはネットワークをブラウズして、インストール・イメージの新しいロケーションを検出する必要があります。

第7章. のリモート・インストール Z&I Windows 用エミュレータ

Z&I Windows 用エミュレータ では、Tivoli® Software Distribution と Microsoft® Systems Management Server (SMS) 2.0 Service Pack 2 以降のいずれかの使用によるリモート・インストールをサポートします。リモート・インストールとアンインストールは、通常モード (手動) またはサイレント・モード (不在) で実行できます。

SMS を使用したリモート・インストール

SMS を使用したリモート・インストールは以下のステップで構成されます。

1. 管理インストールを実行して、Z&I Windows 用エミュレータ インストール・ファイルをネットワークにコピーする ([管理インストール \(ページ 20\)](#)を参照してください)。
2. Z&I Windows 用エミュレータ インストール・ソフトウェアを含む SMS パッケージを作成する。
3. ソフトウェア・パッケージを配布しインストールする SMS ジョブを作成する。



注: Z&I Windows 用エミュレータ は SMS パッケージの作成に使用するために、サンプル SMS ファイル、HCL Z&I Windows 用エミュレータ.sms を提供します。また、独自の SMS ファイルも作成できます。SMS ファイルは、Microsoft® SMS の旧バージョンで使用されていたパッケージ定義ファイル (PDF) と同じです。

SMS を使用して Z&I Windows 用エミュレータ をインストールし、展開する際の詳細な最新の情報は、<http://www.microsoft.com/smsmgmt> で SMS 製品資料をご覧ください。

Active Directory グループ・ポリシーを使用したリモート・インストール

Microsoft Active Directory グループ・ポリシー経由で、Z&I Windows 用エミュレータ がクライアント・コンピューターまたはユーザーに自動的に配布されるようにすることができます。

Active Directory グループ・ポリシーを使用した Z&I Windows 用エミュレータ の配布方法についての詳細は、<http://support.microsoft.com/kb/816102> の Microsoft Windows 知識ベース記事を参照してください。

第 8 章. InstallShield コマンド行パラメーター

InstallShield は、Microsoft® Windows インストーラ サービスを呼び出すブートストラップ・ローダーとして setup.exe を使用します。setup.exe は、管理インストール、サイレント・インストールの実行、またその他の管理用タスクを行えるようにする、コマンド行パラメーターを受け入れることができます。/v パラメーターを使用すると、その他のパラメーターも setup.exe によって Windows インストーラ データベース (MSI パッケージ) に渡すことができます。

デフォルトでは、setup.exe によって、ファイル名が pcsinst.log の冗長インストール・ログが作成され、環境変数 %temp% によって名前を指定されたフォルダーに置かれます。この動作は、コマンド行引数が、[パラメーターの説明 \(ページ 25\)](#) で説明する /v パラメーターを使用して Windows® インストーラーに渡されると、指定変更されません。



注: %temp% が存在していないフォルダーを指し、しかも /v フラグを使用して、Windows® インストーラーに渡されたデフォルト・パラメーターを指定変更しない場合は、setup.exe は失敗します。

setup.exe は、[表 2: InstallShield コマンド行パラメーター \(ページ 25\)](#) にリストされているコマンド行パラメーターを受け入れます。各パラメーターの説明は、[パラメーターの説明 \(ページ 25\)](#) にリストされています。

表 2. InstallShield コマンド行パラメーター

パラメータ	説明
/v	パラメーターを MSI パッケージに渡します。
/s	setup.exe はサイレント・モードになります。
/l	セットアップ言語を指定します。
/a	管理インストールを実行します。
/j	案内モードでインストールします。
/x	セットアップのアンインストールを行います。
/f	修復モードでセットアップを立ち上げます。
/w	Setup.exe は、インストールが完了してから終了します。
/qn	setup.exe 以外のすべてをサイレントにする Windows® インストーラー MSI パラメーター。これにより、ユーザー・インターフェース・レベルがゼロに設定されます。

パラメーターの説明

パラメーターを MSI パッケージに渡す

/v

/v コマンド行パラメーターを使用すると、Windows インストーラ でサポートされているパラメーターを setup.exe によって MSI パッケージに渡せます。例えば、/L パラメーターを setup.exe によって MSI

パッケージに渡して、ユーザーが選択したロケーションに冗長ログ・ファイルを作成して保存することができます。ログ・ファイルを作成するには、以下を入力します。

```
E:\ZIEWin_pkgs\xxx\setup.exe /v"/L*v\"%temp%\pcsinst.log\"
```

各部の意味は以下のとおりです。

- **E:** は、ご使用のインストール・イメージ・ドライブです。
- **xxx** は、インストールされる ZIEWin 言語によって **mls** となります。

サポートされているコマンド行パラメーターおよび特定の使用例の詳細については、Web サイト <http://www.msdn.microsoft.com> を参照してください。



注: /v 引数は、コマンド行において最後の InstallShield パラメーターでなければなりません。サポートされている Windows インストーラ パラメーターは、MSI パッケージに渡されますが、/v 引数の後ろにはどのような InstallShield コマンド行パラメーターも続けることはできません。

setup.exe をサイレント方式で実行する

/s

setup.exe の実行の際に進行状況バーを表示させないようにするには、/s コマンド行パラメーターを使用します。サイレント方式でセットアップを実行してダイアログを表示させないようにするには、/v パラメーターを使用して setup.exe によって Windows インストーラに /qn コマンド行パラメーターを渡します。その他の /q ユーザー・インターフェース・オプションについては、コマンド行パラメーターの Microsoft のドキュメンテーションを参照してください。サイレント・インストールを実行するには、以下を入力します。

```
E:\install\xxx\install\ZIEWin\setup.exe /s /v"/L*v  
\"%temp%\pcsinst.log\" /qn"
```

各部の意味は以下のとおりです。

- **E:** は、ご使用のインストール・イメージ・ドライブです。
- **xxx** は、インストールされる ZIEWin 言語によって **mls** となります。



注: 以下のコマンドで /s /v /qn パラメーターを使用すると、初期設定ファイルを MSI パッケージに渡し、サイレント・インストールを実行することができます。

```
E:\install\xxx\install\ZIEWin\setup.exe /s /v"/L*v  
\"%temp%\pcsinst.log\"  
USEINI=\"C:\ZIE Windows 用\ZIEWin.ini\" /qn"
```

xxx は、インストールされる ZIEWin 言語によって **mls** となります。

ソース・メディアがネットワーク・サーバーの場合に、ソースからサイレント方式でインストールするには、コマンド行でインストール・ポイントを指示したあとに、/s /v /qn パラメーターを使用します。

Z&I Windows 用エミュレータ をサイレント方式でアンインストールするには、以下の例のように、/x パラメーターと一緒に /s パラメーターを使用します。

```
X:\install\ZIEWin\setup.exe /s /x
```

ここで、X: は Z&I Windows 用エミュレータ のインストール・ディレクトリーがあるロケーションです。

セットアップ言語の指定

/l

/l コマンド行パラメーターによって適切な 10 進数の言語 ID を使用することで、セットアップ時に使用する言語を指定することができます。言語 ID のリストについては、(ページ)を参照してください。例えば、セットアップ言語を チェコ語に変更するには、以下のように入力します。

```
E:\install\xxx\install\ZIEWin\setup.exe /l"1029"
```

管理インストール

/a

管理インストールでは、ソース・イメージをネットワーク・サーバーにインストールします。これによりユーザーは、ネットワーク・サーバーから Z&I Windows 用エミュレータ を直接インストールするために、ネットワークにアクセスできるようになります。

案内モード

/j

案内によって、ユーザーは Z&I Windows 用エミュレータ の機能を、セットアップ時ではなく必要ときにインストールできるようになります。インストール可能な機能は、あとでインストールできるように、ユーザーのシステムにショートカットが作成され、案内されます。

アンインストール・モード

/x

アンインストール・モードによって、ユーザーのシステムから Z&I Windows 用エミュレータ を除去します。

修復モード

/f

修復モードで setup.exe を立ち上げると、すべてのインストール済み機能の キー・ファイルが検査され、欠落または破壊されているか、あるいは旧バージョンと判別された機能が再インストールされます。

第9章. 本書で使用されている略語

API	アプリケーション・プログラミング・インターフェース
CPI-C	共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション
EHLLAPI	エミュレーター高水準言語アプリケーション・プログラミング・インターフェース
IEEE	米国電気電子学会
IP	インターネットプロトコル
LAN	ローカルエリアネットワーク
LSP	LAN サポート・プログラム
MSI	Windows インストーラ データベース
MSP	Windows インストーラ Patch
MST	Windows インストーラ Transform
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol (伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル)
WAN	広域ネットワーク

第 10 章. 特記事項

本書は米国 HCL が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 HCL の営業担当員にお尋ねください。本書で HCL 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その HCL 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、HCL の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、HCL 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

本書に記述されている主題事項に関して HCL が特許権 (特許出願を含む) を所有していることがあります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

HCL
330 Potrero Ave.
Sunnyvale, CA 94085
USA
注意: Office of the General Counsel

HCL TECHNOLOGIES LTD. 本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。HCL は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において HCL 以外の文書または HCL 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの文書または Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この HCL 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

HCL は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

HCL
330 Potrero Ave.
Sunnyvale, CA 94085
USA
注意: Office of the General Counsel

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用できますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、HCL 所定のプログラム契約の契約条項、HCL プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、HCL より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンス・データは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

HCL 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者もしくは公開されているその他のソースから入手したものです。HCL は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求について HCL は確証できません。HCL 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

商標

HCL、HCL ロゴおよび hcl.com は、世界の多くの国で登録された HCL Technologies Ltd. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM® または各社の商標である場合があります。

Index

Special Characters

- アンインストール
 - コマンド行パラメーターの使用 27
 - 保守インストールの使用 23
- インストール
 - インストールを実行してネットワークサーバーから実行 21
 - カスタマイズ 18
 - カスタム 7
 - サイレント 11
 - ネットワークサーバーからのインストール 21
 - リモート
 - SMS を使用する 24
 - Tivoli を使用する 24
 - 保守インストール
 - 修復 23
 - 変更 23
 - 除去 23
 - 初期設定ファイル処理 18
 - 標準 5
 - 機能のインストール・オプション 10
 - 機能の選択 9
 - 管理インストール
 - InstallShield コマンド行パラメーター 27
 - 概要と手順 20
- インストール、リモート
 - SMS を使用する 24
 - Tivoli を使用する 24
- オペレーティング・システム、マルチブート 2
- カスタマイズ
 - 初期設定ファイル処理 18
 - 変換ファイル 18
- コマンド行パラメーター
 - MSI パッケージへ渡す 25
- コマンド行パラメーター
 - InstallShield、setup.exe 25
 - Windows インストーラ
 - サービス 18
 - アンインストール・モード 27
 - サイレント・インストール 26
 - 修復モード 27
 - 案内モード 27
 - 管理インストール 27
 - 言語、セットアップ 27
- ご使用条件 30
- サイレント・インストール
 - コマンド行パラメーターの使用 26
 - 一般情報 11
 - 初期設定ファイル処理 18
- ソースからの実行
 - インストール・イメージ 10
- ソースから実行
 - ネットワークサーバー 21
- リモート・インストール
 - SMS を使用する 24
 - Tivoli を使用する 24
 - ランチパッドの使用 24
- 保守インストール
 - コマンド行パラメーターを使用して修復する 27
 - 修復 23
 - 変更 23
 - 除去 23

- 初期設定ファイル処理
 - サイレント・インストール 18
 - 一般情報 18
- 機能のインストール・オプション 10
- 機能の選択 9
- 移行
 - 一般情報 2
 - 手順 8
- 管理インストール
 - InstallShield コマンド行パラメーター 27
 - インストールを実行してネットワークサーバーから実行 21
 - ネットワークサーバーからのインストール 21
 - 概要と手順 20
- 言語、指定
 - コマンド行パラメーターの使用 27

M

- Microsoft Systems Management Server (SMS)、リモート・インストール 24

S

- setup.exe 25